



photo:「フォルメンテール島」石井順也

セゾン・アーティスト・イン・レジデンス セゾン AIR パートナーシップ

日本・スペイン ダンスプロジェクト「トポス」

世界のダンスマスターに師事する、新鋭のダンサーによる新たな身体表現

セゾン・アーティスト・イン・レジデンスでは、ピナ・バウシュ ヴヅパータル舞踊団の専属ダンサーとして活動するパウ・アラン・ジメーノを迎え、ジョセフ・ナジに師事するダンサーの石井順也と、笠井叡等の作品に出演する小暮香帆による日本・スペインダンスプロジェクト「トポス」のパブリック・トークとワークショップを森下スタジオで開催します。

パブリック・トーク

「トポス：バルセロナ物語、東京物語」 新作の構想を語る

2018年9月21日(金) 19:00-20:30 / 森下スタジオ / 参加無料

異なる場所に住み、異なる視点や個性、身体を持つ表現者が錯綜する場、また肯定できる未来を空想するプロセスを共有し、探求する場をつくるダンスプロジェクト「トポス (TÓPOS)」について3人のダンサーのこれまでの活動や作品とともに、バルセロナや東京のレジデンスでの活動、新作の構想を紹介するトークを行います。

ワークショップ

「トポス：生成する場所」 新たな身体表現を探るワークショップ

2018年9月22日(土) 10:30-18:30 / 森下スタジオ / 参加無料

砂漠や砂丘、滝、湧き水といった絶えず変化するフローから生まれる新たな身体表現の可能性に着目し、不確かな時代の中で他者と向き合い、共存する方法や共通感覚を、異なるバックグラウンドの3人のダンサーとともに模索するワークショップを行います。詳細は本チラシの裏面をご覧ください。

主催：公益財団法人セゾン文化財団 制作協力：PLATAUX

助成：平成30年度文化庁「アーティスト・イン・レジデンス活動支援を通じた国際文化交流促進事業」

後援：駐日スペイン大使館、カサアジア

日本・スペイン ダンスプロジェクト「トポス」ウェブサイト：<http://toposdance.info/>

公益財団法人セゾン文化財団



ワークショップ

ワークショップ A

モデレーター

パウ・アラン・ジメーノ [スペイン]

あらゆる人々の身体には固有の言語があり、ユニークでパーフェクトです。私たちは自己、そして他者との対話を通して空間を開き、本物の個人の表現を通して繋がり、動きの質を高めます。自己の限界に「気づく」能力を伸ばし、克服することで、オープンで自律的な創造的なプロセスに適應できる心を育みます。



photo: Felicitas Willems

プロフィール

Pau Aran Gimeno

1981年スペイン、バルセロナ生まれ。2005年よりピナ・バウシュ ヴツパタール舞踊団の専属ダンサーとして活動を始め、現在まで多くの作品に出演をしている。ソロダンサーとしては、『AT 17 CENTIMETERS』(2013)などの作品を発表し、また世界各地でワークショップを行い、多数のプロジェクトに積極的に参加している。これまでに『春の祭典』、『コンタクトホーフ』、『私と踊って』、『カーネーション NELKEN』の来日公演に出演。ヴィム・ヴェンダース監督『Pina/ピナ・バウシュ 踊り続けるいのち』でも、ソロダンスを披露している。

<https://www.pauaran.com/>

ワークショップ B

モデレーター

石井順也 [日本]

他者を頭の中だけで判断せず、一方的な偏見を押し付けない。そのためのプラクティスとして実際にペア、グループになって、一人一人の身体がどのように違うか聞くスキルと観察力を養います。感覚を言葉にできたり、できなくてもしょうがない時間を作ります。一緒に自力と他力、そして寛容の精神を学びます。



photo: PLATAUX

プロフィール

Junya Ishii

ダンサー、俳優。1983年生まれ。幼少期はメキシコとカナダで育つ。立教大学文学部卒業後、ハンガリーを拠点に旅を続けながら音楽家、映像作家、美術家とセッションを重ねる。セルビア・カニジャで振付家ジョセフ・ナジに出会い、『Length of 100 Needles』(2009)などの作品に出演、欧州ツアーに参加した。舞踊作品『アサガオ』(2013)を作曲家アルベルト・マルコスと共作しブダペストで発表。俳優としては、加藤直輝監督作品『2045 Carnival Folklore』(2015年シアトル国際映画祭招待作品)に主演。2017年文化庁新進芸術家海外研修員(バルセロナ)。直感を大事にしている。

<http://junyaishii.com/>

ワークショップ C

モデレーター

小暮香帆 [日本]

体を緩め伸ばしていくストレッチから、ペアになりお互いの「からだの言語」を聞くワーク、聴覚を広げるワークから、感覚や体の構造に着目した動きを探す時間にしたいと思います。ほんとうに踊りたい、という気持ちがあれば、未経験者も大歓迎。是非一緒に開拓しましょう。



photo: FILM SESSIONS

プロフィール

Kaho Kogure

ダンサー、振付家。1989年生まれ。これまでに笠井穀をはじめ、多数の振付家の作品に出演。イタリア、インドネシア、メキシコ、ロシアのツアーに参加した。2012年日本女子体育大学卒業後、本格的にソロ活動を開始。ソロ公演『遙かエリチェ』(2013)、『ミモザ』(2015)を国内外で発表する。また舞台のみならずLIVE、映画、MVに出演するなど、活動は多岐にわたる。第2回セッション・ベスト賞、2015年横浜ダンスコレクションEX2015コンペティション1奨励賞、第6回エルスール財団新人賞受賞。めぐりめぐるものを大切に踊っている。

<http://kogurekaho.com>

セゾン・アーティスト・イン・レジデンス セゾン AIR パートナーシップ パブリック・トーク、ワークショップ

申込方法

9月20日(木)の正午までにメールまたは電話でお申込みください。

Email: topos@saizon.or.jp TEL: 03-5624-5951 (森下スタジオ受付:10:00-21:00)

*件名を、「9月21日パブリック・トーク申込み」または「9月22日ワークショップ申込み」とし、本文に

①お名前②職業③参加人数④連絡先⑤イベントをどのようにお知りになったかを記入ください。

ワークショップ参加への留意事項

*ワークショップの定員は15名で、先着順とさせていただきます。

*ワークショップA、B、C、3回のワークショップ、全てにご参加していただける方を対象とします。

*ダンス経験の有無は問いません。

*各ワークショップは2時間で、途中休憩がございます。

*パウ・アラン・ジメーノのワークショップは英語で行いますが、日英の通訳がございます。

日本・スペイン ダンスプロジェクト「トポス」ウェブサイト: <http://toposdance.info/>

森下スタジオへのアクセス



地下鉄都営新宿線、都営大江戸線「森下駅」A6出口 徒歩5分
東京外環半蔵門線、都営大江戸線「清澄白河駅」A2出口 徒歩10分
『明治座森下スタジオ』様とお間違いないようご注意ください。